

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 22.4.14 第 174 回国会第 12 号

4 月 14 日（水）、第 12 回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・岡田外務大臣、武正外務副大臣、福山外務副大臣、松下経済産業副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 小野寺 五 典君（自民）

- ・ODA 評価有識者会議の元座長が理事を務める財団法人が外務省から事業を受注した問題についての説明を伺いたい。
- ・中国海軍艦艇が沖縄近海を航行した問題に対する岡田外務大臣の所感を伺いたい。
- ・2014 年までの普天間飛行場返還は実現されるのか。

### 小宮山 泰 子君（民主）

- ・ハイチ地震災害等における災害復旧支援についての岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・石油や食糧等の資源の需要が国際的に高まる中、資源外交における外務省と他省庁との連携についてどのような取組を行っているのか。
- ・在京の各国大使との意見交換等の交流を行う必要性について岡田外務大臣の見解を伺いたい。

### 末 松 義 規君（民主）

- ・民主化に対して消極的なミャンマーの軍事政権に対して我が国はどのように対処するのか。
- ・欧米との商談が拡大するリビアとの外交関係の推進のため、リビアの指導者を我が国に招待するなど関係拡大の意義について岡田外務大臣はどのように考えているのか。
- ・いわゆる「密約」問題における佐藤内閣総理大臣（当時）とニクソン米大統領（当時）との合意議事録は国際約束なのか。

### 新 藤 義 孝君（自民）

- ・竹島問題に関して、岡田外務大臣が国会等で「不法占拠」の文言を使用しない理由は何か。

- ・韓国による竹島のヘリポート改修計画及び同近海での海洋科学基地建設計画に対し、我が国はどのような対処をするのか。
- ・竹島問題に関する我が国の意見の集約や協議を行う場合は外務省や与党内にあるのか。

### 赤 松 正 雄君（公明）

- ・米国で開催された核セキュリティ・サミット（2010.4.12～13）で取り上げられた国際テロ組織への核拡散等の懸念に対する外務省の所見を伺いたい。
- ・核不拡散問題に関して岡田外務大臣はどのような構想を持っているのか。
- ・米国の核の傘下にいる一方で、非核三原則を堅持する我が国は、核廃絶に関する議論を米国としてきたか、又は、する用意があるのか。

### 笠 井 亮君（共産）

- ・米原子力艦船が横須賀、佐世保、沖縄に寄港する際の放射能モニタリング調査についての日米間の密約は存在するのか。
- ・法務省が 1972 年 3 月に作成した「合衆国軍隊構成員等に対する刑事裁判権関係実務資料（以下、裁判権関係資料）」の国立国会図書館における 2008 年 11 月からの一部開示について外務省と法務省はどのような協議を行ったのか。
- ・1972 年版裁判権関係資料が 2010 年 2 月から国立国会図書館で全面開示されたことに合わせて、重複内容のある 2004 年版裁判権関係資料を全面開示すべきではないか。

2 脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得についての課税権の配分に関する日本国政府とバミューダ政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第4号）

所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とクウェート国との間の条約の締結について承認を求めるの件（条約第9号）

原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とカザフスタン共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第14号）

・岡田外務大臣からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。